

- ② モダン横須賀 & 神奈川
- ③ 命を守って厄をよけ
- ④ 船の安全航行の守り

## あなたが地域の主人公

3年前、生涯学習センターの館長・渡辺孝夫さんから電話があった。「ポラセンさんと3者で情報交換会を開きませんか？」という内容だった。市民活動サポートセンターはNPO支援を行う中間支援施設だが、社協が運営するボランティアセンター、生涯学習センターとは日ごろから広報協力

### シニアの力

シニアにとって再雇用も課題だろうとシルバー人材センターにも加わってもらい「ひくてあまたのお父さんプロジェクト」がスタートした。

第一回は郷土史家・山本詔一さんの基調講演とシニア向けの協力企画40が集まった。好評で、すぐに第2回を企画した。基調講演はさわやか福祉財団の堀田力さん。たまたま市が企画していた介護予防講演会と日程がかぶり、協議の結果、「生涯現役フォーラム」と

## 定年後デビューへ準備を

をしてきたので、毎月の定例会が始まった。そこで共通の話題として団塊の世代が動いてくれない、NPO、ボランティアの高齢化などが話題にのぼった。では一緒にやろうと話はずぐにまとまり、シ

ア向けの協力企画40が集まった。好評で、すぐに第2回を企画した。基調講演はさわやか福祉財団の堀田力さん。たまたま市が企画していた介護予防講演会と日程がかぶり、協議の結果、「生涯現役フォーラム」と

男性が定年後の社会参加で注意することとして、自慢話、威張る、派閥づくり、女性蔑視、雑用を頼むなどが挙げられていた。たしかに一理ある。

ことはプロジェクト名を「ひくてあまたプロジェクト」に変更した。これからは女性の定年退職世代も増えるし、限定する必要はないとの判断からだが、女性に比べて男性が定年後に孤立を深める現状に変わりはない。

込むのだ。メリットは話題作り、定年前からの準備、そして会社もこれを認める、いや推奨する点が大きいという。



「生涯現役フォーラム」で講演する堀田力さん  
2014年11月29日、県立保健福祉大学

堀田力さんは講演の中で「定年前からの準備が必要なので」と強調されていた。その手法として「名刺両面大作戦」を推進している。働いている時から名刺の裏側にボランティア活動の内容を書き

「横須賀市立市民活動サポートセンター」館長・高橋 亮